

事業所における 自己評価結果（公表）

公表：令和 6 年 1 月 1 日

事業所名 コペルプラス五位堂 教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4		机の配置など個々に合わせて環境整備を行っています。	
	②	職員の配置数は適切である	2	2	人員配置基準に基づき配置を行っています。	ご利用希望者様が増えていることを踏まえ今後の人員配置については検討していきます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4		けが防止のためのマットの利用。また飛び出し防止のためのゲートの設置など行っています。	必要に応じて保護剤を使うなどその都度検討していきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4		毎日清掃、消毒を行っています。加湿器や空気清浄機等を使用していきます適切な湿度を保つようにしています。	感染症対策を踏まえた空間づくりに努めて参ります。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4		朝礼やカンファレンスの時間を用いて振り返りを行っています。	必要に応じて記録をとり、全職員に共有出来るようにしていきます。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4			評価表に基づき業務改善に努めていきます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4			保護者向けに SNS または掲示することで発信しています。

	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4			現在第3者評価は行っていません。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		年間計画を作成しています。	随時研修を行い資質向上に努めています。
	適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4		職員間でカンファレンスを行い多面的な視点から支援計画を作成しています。
⑪		子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4		弊社独自のアセスメントシートを用いています。	
⑫		児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4		年齢や発達状況、保護者からの要望に沿い地域移行支援を行っています。	

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4		レッスン毎に個別支援計画を確認し支援を行っています。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	4		立案をし共有する時間を作っています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		多彩なプログラムを準備し固定化されないようにしています。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	4		子どもの発達状況をみながら個別支援またソーシャル(集団)での支援にお誘いしています。	

	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4		朝礼やカンファレンスを行い職員間で確認しています。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4		振り返りをする時間を設けています。職員全員が集うことが難しい時は連絡帳等で共有するようにしています。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		個々の子どもの記録に加え、教室の日記を作成しています。	
	⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4		定期的モニタリングを行い個々に応じた支援の見直しを行っております。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4		管理者、指導員など状況にふさわしい者が参加しております。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4		行政や保健センターなどと連携をしています。	今後より一層の連携に努めていきます。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				現在が該当の方は在籍しておりません。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				現在該当のかたは在籍しておりません。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4		訪問やサポートブックなどを通じて相互理解を図るようにしています。	

連携	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4		要望に応じて情報共有シートを提出し相互理解を図っています。	
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4			連携を行っているが、今後さらに連携を深めていきたいと考えています。
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		4		行っていないが、保護者向けに情報発信を行っています。

	②⑨	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		4		現在参加出来ていないので今後参加を検討していきます。
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		来所時にカンファレンスの中で共有させていただいております。	
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	4			不定期開催となっているので、定期的に開催出来るように準備を整えていきます。
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4		契約時にご説明させていただいております。ご不明な点がある場合はその都度ご説明の時間を作り説明しております。	
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4		支援計画の作成後に面談を行い今後の目標について共有、同意をいただいております。	
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4		モニタリング時、またはご要望に応じてお話をする機会を設けております。	

	⑳	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4			現在行えておりませんが、今後検討していきます。
	㉑	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4		相談や申し込みがあった場合は速やかに対応するように心掛けております。	
	㉒	個人情報の取扱いに十分注意している	4		定期的に研修を行い取扱いについて職員間で共有しております。	
	㉓	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4		必要に応じてルビをつける、連絡事項は文章に残すなど配慮をしております。	
	㉔	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		4		行っておりません。
非常時等の対応	㉕	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4		マニュアルを策定し訓練を行っています。	
	㉖	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4		定期的に行っています。	
	㉗	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4		契約時に確認を行った上毎年変更点がないか確認の上個人ファイルに記載しております。	
	㉘	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4		食事、おやつを提供は行っていないが、アレルギー対応の為入室後の飲食を控えていただいています。	
	㉙	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4		ヒヤリハットを作成し共有しています。	

④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4		適切な対応についての研修を行っています。	
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4		契約時に説明させていただき支援計画に記載しております。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。